

平成 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 10 月 17 日

学 長 殿

福島大学 共生システム理工学研究科・学生

藤本 太威尊

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・ <u>学会参加</u>) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	公益社団法人 日本経営工学会 2017年秋季大会
事業実施期間	平成 29 年 11 月 ~ 平成 29 年 11 月
成果の概要	<p>平成 29 年 11 月 2 日から 3 日に開催される公益社団法人 日本経営工学会 2017 年秋季大会において、予稿集への論文投稿と研究発表を行った。論文の枚数は 2 枚である。</p> <p>発表のタイトルは「経営管理イノベーションの実現に向けた概念的考察」である。市場の成熟化、コモデティ化が進み、市場環境が急速に変化している近年において長期的に競争優位を確立することが困難になっている。本研究はこのような市場環境において長期的に競争優位を確立するために、経営管理イノベーションの実現において効果的なコンセプトについて考察した。経営管理イノベーションとは企業の経営管理の手法や組織構造を変革するイノベーションである。既存の経営管理の手法が多く企業において適切であると考えられていることから経営管理のイノベーションの優位性を理解することが難しく、長期的に競争優位を確立することが出来る。</p> <p>具体的には、経営管理イノベーションの実現における以下の課題について考察した。1.戦略変更の速度を飛躍的に向上させること 2.イノベーションを全社員の日常的な業務とすること、3.従業員が能力を発揮できる環境を構築すること、である。これらの課題に対して、オープン・イノベーション、デザイン思考、企業文化の点から解決のためのコンセプトを提示した。</p> <p>その結果、1.オープン・イノベーションによる戦略変更の速度向上 2.デザイン思考による従業員の創造性向上とイノベーションへの参加、3.変革的な企業文化による従業員が能力を発揮できる環境の構築という効果を提示した。</p> <p>以上のことから、自らの研究に対する新たな知見が得られたこと、発表と論文投稿による経営工学への寄与が出来たと考えられるため、本学会への参加と発表は有意義なものだった。</p>